

小児科

2024年度の小児科スタッフの異動は、4月に聖隷浜松病院プログラム所属の高橋医師、鍋田医師（専攻医）が1年の期間で着任し、2025年3月に聖隷浜松病院へ異動となった。また2015年8月から導入した交代制勤務を維持することができた。

一般外来は、平日日勤帯の病院受診者数は新型コロナウイルスの影響で大きく減少した2020年から徐々に回復傾向にあるものの、コロナ禍以前の患者数には戻っていない。

一般小児の入院数はF4病棟、PICUなどを合わせて715例とコロナ禍で減少した2020年度（387例）から徐々に回復傾向を示している。PICUは聖隷おおぞら療育センター入所中の患者の呼吸障害や消化器症状による転棟が多く、疾患別では気道感染や急性胃腸炎症例が多くを占めた。また、コロナ感染症の患児の受け入れの対応や、コロナ感染症陽性妊婦の分娩・新生児管理も引き続き行った。

NICUの入院総数は59人（院内57、院外2）で、出生体重別では1000g未満：0人、1,000-1,499g：1人、1,500-1,999g：2人、2,000-2,499g：14人、2,500g以上：42人であった。在胎週数別では30週未満：0人、30-33週：2人、34-36週：11人、37週以上：46人であった。少子化の影響もあり地域分娩数の低下と共に入院数は低下しているが、新生児搬送なども積極的に受け入れ地域周産期センターとしての役割を今後ともしっかりと果たしていきたい。

当院小児科はチームワークを大切にし、一般小児、周産期、PICUを持つ救急、重症心身障害医療を4つの柱にすえて日々診療に当たっている。神経、新生児、感染症、呼吸器、循環器、アレルギー分野においてはスタッフも充実し、より専門的な医療にも対応できるようになっている。また、新専門医制度における基幹施設にもなっており、専攻医の教育にも力を入れている。

今後も人材の育成にも積極的に取り組みつつ、地域医療に貢献できるよう努めていきたい。

（部長 白井 憲司）

・医師数 9名 ・専攻医 3名
・初期研修医 3名

（2025年4月現在）

【入院患者】（単位：人）

	2020	2021	2022	2023	2024
新入院	387	480	536	670	715
退院	385	492	537	670	710
延べ人数	2,347	3,055	3,217	3,400	3,902
一日平均	6.4	8.4	8.8	9.3	10.7

【外来患者】（単位：人）

	2020	2021	2022	2023	2024
新来	1,552	1,981	2,222	1,969	1,825
再来	5,377	5,848	6,757	6,605	6,960
延べ人数	6,899	7,829	8,979	8,574	8,785
一日平均	23.5	26.7	30.6	29.3	30

【平均在院日数】（単位：日）

年度	2020	2021	2022	2023	2024
日数	5.1	4.3	5.0	3.8	4.5